

11月4日（月）発表会・出店



民謡発表会（狭山台民謡会）五輪音頭を楽しく踊る

公民館前に設営したテントでは、狭山台地域づくりをすすめる会の会員が、うどん、フランクフルト、ベルギーワッフル、ミニケーキ、ティラミスチョコレートを販売していましたが、とても人気で閉店時間前までに完売しました。



うどん ¥350



ベルギーワッフル ¥100



フランクフルト ¥100

狭山台民謡会は発足から30年経過しました。今年は、和服と帯を新調したので華やいだ雰囲気になったそうです▼狭山台民謡会メンバーの8人が、各地方の民謡10曲に合わせ、多様な踊りを披露してくれました▼東京五輪音頭に合わせ、参加者も一緒に踊りました。お開きに、全員両手でVサインを挙げるなどで見事な踊りを演じました。

11月5日（火）発表会



ストレッチ体操&ダンス発表会（JAZZボックス）

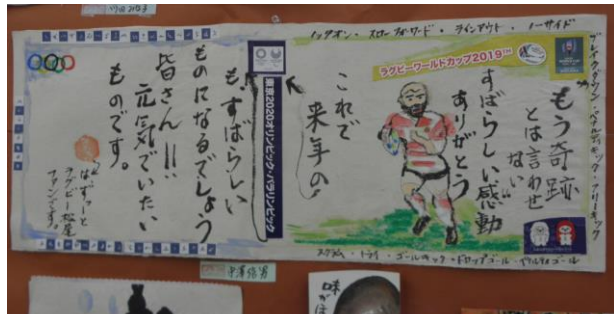
日本舞踊同好会の発表は、公民館ホールに演舞台を設置し、屏風などで間仕切りして美しい舞台となっていました。三味線、笛、太鼓等で伴奏された曲に合わせ、7人が13曲をそれぞれ扇や日傘を持って踊るものでした。舞踊の先生は藤間勘洋師匠とのことでした。



日本舞踊発表会（日本舞踊同好会）終了ご挨拶

JAZZボックスは結成38年目を迎えました。最初に見学者も参加して公開ストレッチ体操をしました▼ダンス発表は衣装を替える度に、新たな音楽に合ったジャズダンスのリズミカルな動きと、しなやかな動きの組み合わせでした▼4曲目に入る前に「こども作品展」に出展した狭山台南保育所の20人程の園児が、ピンクの帽子をかぶった園児服姿でホールに入ってきました。美しいジャズダンスを初めて見て驚いた様子が印象的でした。帰り際、一斉にお別れの挨拶を「バイバイ」と元気に帰っていきました。

11月2日（土）～5日（火）前期展示

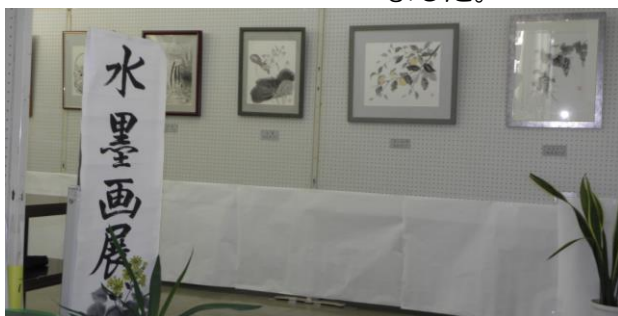


絵手紙展（絵手紙ひよっこ会）



段ボール絵画15点中の1点

絵手紙展は、大きな影響のあった大型の台風など時事を反映した内容で毎年作成されることが特徴的ですが、今年は初めて段ボール絵画が15点展示されたのが印象的でした▼日本でラグビーワールドカップが開催され盛り上がりましたが、素敵な関連絵手紙2点展示され注目を集めておりました。

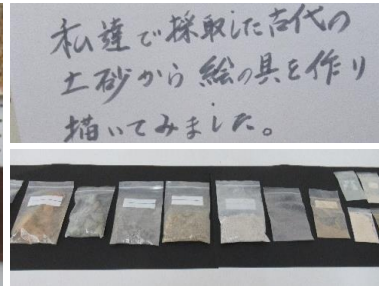


水墨画展（狭山台墨水会）「午後のひと時（ギター）」伊崎康夫

狭山台墨水会では、高齢者の会員が多いそうですが、新しい絵画手法を取り入れた作品が展示されておりました。「日暮れの湖」と「午後のひと時（ギター）」作品は「網ぼかし」という筆使い手法で、小さな点による絵描きにより繊細な画風となっているのが印象的でした。（村上記者）

11月7日（木）～10日（日）後期展示

多くの力作な絵の中で、土砂からの手作り絵の具で描いたという独特の雰囲気を出している一角がありました。派手ではありませんが絵の楽しさ奥深さが伝わってきました。



絵画展（日本画倶楽部）

ピボット PC サークルでは、今年はステンドグラスのデザインを展示していました。作品が出展されるたびにパソコンの技には驚かされます。一般募集の作品にも目を引かれるものが並びました。



ステンドグラスデザイン展（ピボットPCサークル）

春墨会の書道作品前に大勢の方が見学に訪れました。日本の伝統がこうして皆さんに受け入れられていくのは、地域の文化祭の醍醐味でもあります。

～文化祭見学者の感想～

- すべての公民館を見てきましたが、各地域のみんなが公民館を中心にしながら文化活動に一生懸命に頑張っている様子がうかがえて心強く思いました。
- 一生懸命に作品作りに精を込めている様子が素晴らしい。
- 作品を作るのも楽しいし、それを通じてボランティアができることも嬉しい。

文化祭が、サークル活動で生き生きと体を動かして、脳を鍛え、指先を動かし高齢化の世の中を変えていこうとしていることを実感できます。（牧野記者）



書道展（春墨会）

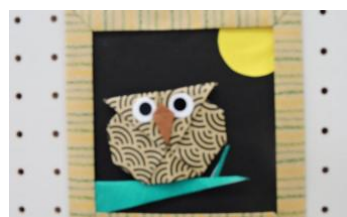


一般参加作品展の豪華な金銀の飾り物

11月9日（土）文化祭ピックアップ 折り紙ボランティアたんぽぽ

楽しい折り紙教室

11月2日から始まった文化祭も8日目。「楽しい折り紙教室」取材しました。（展示会場：第2会議室）▼すでに9人の女性がテーブルを囲み集中して指先を動かし、そばには数人の会員サポーター（ボランティア養成講座の受講生）が丁寧に指導していました▼体験参加者は小物入れ、飾り花、小動物、福鶴などの作り方を教わっていました▼折り紙は、いつの時代も変わらず、色紙を折ることで家族とのコミュニケーションはもとより、手先を動かすことで脳を刺激するために、とりわけ子どもやお年寄りに好評で、海外にも注目され広がっているそうです▼会長の井上孝子さんは、当時副館長の中庭淑恵さん（日本折り紙協会講師）の「中庭先生の折り紙講座」に参加したのがきっかけでボランティア講座の活動について学び、仲間と“折り紙ボランティアたんぽぽ”を立ち上げ、活動を始めたそうです（葛西記者）



サポーターが丁寧に指導します

●ボランティア活動は主に公民館の七夕祭りの飾りつけ・介護施設への出張教室・子ども折り紙教室・自治会のイベントとして折り紙教室などです。